



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



交通安全講習の実施！！

御殿場地区

可変型運転適性検査器(CRT)講習会を実施

日時： 令和5年10月10日(火)～14日(金) 9:00～16:00
場所： 小山町役場（4階会議室）
受講者： **小山町役場職員 204名**
内容： **本庁勤務者のほか、支所やこども園等に勤務している職員**
今年度推進事業所である小山町役場において、県警の所有するCRT検査器を使用した講習会を役場職員に対して行いました。（3台のCRTを使い、御殿場警察署の安全教育担当係長のほか、警察官1名と交通安全協会の交通安全指導員が指導）なるべく多くの職員に受講してほしいという安全運転管理者の意向もあり、一人約15分の所要時間でスケジュールを組み、1日6時間を4日間実施しました。
自分の運転の特徴を改めて実感でき、それを今後にかけて安全運転に繋がる良い機会となりました。

（受講の状況）



磐田地区①

KYT装置を使用した交通安全講習会を実施

日時： 令和5年11月8日(水) 13:00～14:00
場所： 磐田市小立野 医療法人社団 恵成会
受講者： 医療法人社団 恵成会（職員22人）
内容： K Y T装置を利用し、映像を見ながら危険個所を判断する参加型の講習を医療法人社団恵成会の職員に対して実施しました。
作られた映像であるが、実際に運転中に起こりうる危険であることを認識してもらう参加型の講習で、大変参考になった旨の声が聞かれました。

（受講の状況）



磐田地区②

交通安全体験車を使用した交通安全教室を実施

日 時： ① 令和5年11月15日(水) 11:00～13:00
② 令和5年11月16日(木) 9:30～11:30

場 所： ① 磐田市富丘 静岡県農林技術研究所
静岡県立農林環境専門職大学
② 磐田市見付 静岡県西部出納室

受講者： ① 静岡県農林技術研究所・静岡県立農林環境専門職大学の職員及び学生 約100人
② 静岡県西部出納室職員 約50人

内 容： 磐田市内の事故発生状況等について説明を受けた後、交通安全体験車の各種機器を使用して講習を受けました。
参加者からは、ゲーム感覚で楽しみながら個々の注意点を知る事が出来たとの感想が聞かれました。。

(受講の状況)

静岡県農林技術研究所・静岡県立農林環境専門職大学



静岡県西部出納室



細江地区

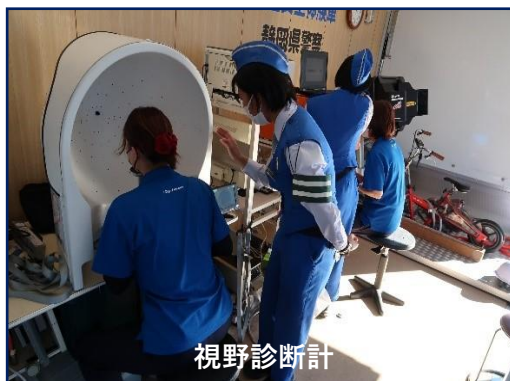
交通安全体験車を使用した研修会開催

日 時 :	①	令和5年11月1日(水)	13:00~16:00
	②	令和5年11月7日(火)	9:00~16:00
	③	令和5年11月8日(水)	13:00~16:00
場 所 :	①	浜松とよおか病院	
	②	スズキ部品製造(株)スズキ精密工場	
	③	興和(株)浜松工場	
受 講 者 :	①	浜松とよおか病院 職員35人	
	②	スズキ部品製造(株)スズキ精密工場 従業員60人	
	③	興和(株)浜松工場 従業員35人	
実 施 者 :	細江警察署、交通安全指導員、細江地区安全運転管理協会、浜松市北区役所(③のみ)		
内 容 :	交通安全体験車(「シートベルト・エアバック衝撃体験装置」「ドライビングシミュレーター」「夜間視認性体験装置」「運転・歩行能力診断 点灯君」「視野診断計」「深視力」「俊敏性、正確性を測るクイックキャッチ」の各種装置)を使用した体験型の研修会を実施しました。 体験後に、浜松市内の交通事故発生状況の説明を行い、その後、ゴーグルライトで反射材の効果を確認してもらい、反射材付きの手袋を配付しました。		

【浜松とよおか病院】



ドライビングシミュレーター



視野診断計

【スズキ部品製造(株)スズキ精密工場】



シートベルト・エアバック衝撃体験



運転・歩行能力診断 点灯君

【興和(株)浜松工場】



俊敏性、正確性を図るクイックキャッチ



反射材の効果を確認

日時： 令和5年10月24日(火)、11月2日(木) 12:30～16:30
 参加事業所： (株)林工組、山崎産業(株)、セルコ(株)、浜松市東消防署、浜松
 ホトニクス(株)常光製作所、(一社)パブリックサービス浜松
 事業所、(株)東洋鉄工所、日鑄工業(株)、明光電気(株)、(株)ユカタ
 技研、(株)クラベ、レント浜松東営業所、浜松市東消防署上石
 田出張所、浜松ホトニクス(株)本社工場、スズキ(株)、浜松市南
 区役所、(株)ミダック、浜松NDS(株)、サーラエナジー(株)、
 サーラE&L浜松(株) 計 20事業所 32人(10～70代)
 内容： 交通教育センターレインボー浜名湖において、選任事業所の
 従業員を対象とした、体験型交通安全講習会を実施しました。

- 開講式
- 座学「より安全な運転者」になる為には
- 実技・反応体験(信号による飛び出し体験)
 - ・低 μ ブレーキ体験(ABSの限界体験)
 - ・ケーススタディ(道路の横断)
 - ・夜間の視認性
- 閉校式・アンケート・閉講挨拶

感想等

- ABSの限界体験では、自分の制動距離を把握することができ日常では体験できない貴重な体験であった。
- 夜間視認性については、服装により見え方が違うことが確認できた。
- 今回の研修で自分の運転を過信してはいけない、制限速度を守ること、車間距離の重要性が理解でき、今後運転をする際の教訓としたい。
- 今回の研修内容を社内で報告し、事業所全体で事故防止に努めていきたい。

等の声が聞かれました。

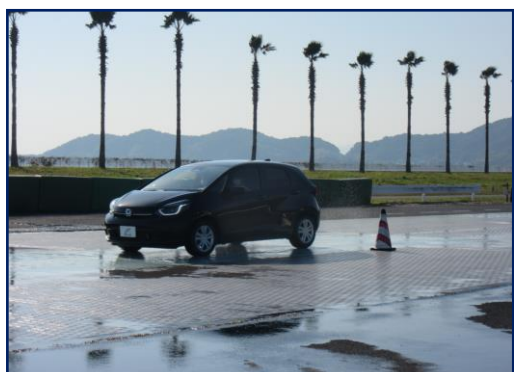
【座学研修の状況】



【実技研修の状況】



【低 μ ブレーキ体験】



【ケーススタディ(道路の横断)】



日時： 令和5年11月15日(木) 13:30～15:15
受講者： 東レコムズ三島㈱ 社員25人
内容： 東レコムズ三島㈱（令和5年度安全運転管理推進事業所）は、

同事業所において、三島警察署交通課から講師を招き、「運転者疑似体験型集合教育装置（KYT装置）による交通安全講習」を開催しました。

同事業所は、12月15日から始まる年末の交通安全県民運動に先駆けて、社員の危険予知意識の向上と交通事故防止を目的として、KYT講習を開催しました。

最初に講師の三島警察署交通係長から、三島警察署管内における交通事故発生状況について話があり、小学生が関連する事故が多発していることや高齢者事故が増加していることなどの説明を受けました。

その後、参加者は交通状況を再現した動画を見ながら危険を予測し、結果を振り返って予測される危険について活発に意見を述べ、危険予知意識の向上を図りました。

KYT講習終了後、同事業所の安全運転管理者は、「年末にかけて社員が一丸となって安全運転と交通事故防止に取り組んでいく。交通マナーや運転中の注意力など、社員の皆さん一人一人の心掛けで交通事故を減らしていこう」と参加した社員に呼び掛けました。

（受講の状況）

